



# 三本桜

第28号

ふかく考える子      あたたかみのある子      がんばりのきく子  
1月の目標：      病気に負けない強い体をつくろう

## 新しい年を迎えて

新しい年が明けました。年末から暖かい日が続きましたが、元旦もとてもよい天気で、穏やかな年明けを迎えて、各地で初日の出を拝むことができたようです。皆様とともに新年を迎えられることを大変うれしく思います。今年もよろしくお願いします。

2025年の干支は、乙巳（きのとみ）です。60年周期の干支の中で42番目に位置しています。

「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。

この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高いです。早い人では年内に、具体的な成果が現れ始め、中には大きな結果を手にする人もいるでしょう。しかし、すべての人が同じペースで結果を得られるわけではありません。成長の速度は人それぞれであり、中には時間がかかる人もいます。

そのため、2025年は辛抱強さが試される年にもなりそうです。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要です。自分のペースを保ちながら着実に前進することで、最終的には望む結果に近づくことができます。高取っ子がそれぞれの思いを胸に力強く一歩を踏み出したことをうれしく思います。



【元旦 五反田グラウンドより】

## 松のことは松に習え 竹のことは竹に習え

江戸時代の俳人、松尾芭蕉の言葉です。芭蕉は、この言葉を俳諧の基本精神として弟子に教えていたそうです。「習え」は、「私心を捨てて、そのもののありのままに従う態度であり、自分勝手に受け取っては、習わないことになる。」と、俳人にその精神が伝えられてきました。

この言葉は、子どもたちと向き合う大人にも通じる言葉です。分かっているように思っている、日々成長する子供の内面は容易に理解できるものではありません。毎日、しっかり子どもたちを見つめ、子どもたちから学ぼうという気持ちを大切にしたいと思います。

